

年頭にあたって



沼田市長
横山 公一

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、本市は全国から高い関心を集め、大いに盛り上がりを見せた一年でありました。

また、下田市とは姉妹都市提携から50年を迎え、互いの都市の市民訪問を行い、友好関係の一層の進展を誓い合った年でもありました。

一方で、全国では熊本地震をはじめ、甚大な自然災害が多発しており、本市においても、昨年9月の台風13号に伴う前線豪雨により利根町柿平地区で土石流が発生し、大きな被害を受けました。復旧や支援に多くの皆さまにお力添えいただきましたことと感謝を申し上げますとともに、改めて市民の安全で安心な暮らしを

守るため、危機管理体制の強化の必要性を認識しました。

市政運営においては、市庁舎、市民活動施設等の複合施設として平成31年7月オープンを目指すグリーンベル21をはじめ、(仮称)利南運動広場や環状線の整備、6次産業推進と地域ブランド力の強化、白沢町への大型企業誘致、官民連携による利根沼田テクノアカデミーの開校、沼田公園の発掘調査、さらには2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるフェンシングドイツチームの事前合宿誘致に向けた取り組みなどを進めることができました。

本年は、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」を将来像とする第六次総合計画の初年度であります。これまでに先人が築き継承してきた歴史・文化に学び、自分たちにとっての幸せな暮らしとは何かを再確認し、本市の特性を生かしたまちづくりを、市民の皆さまとともに、市議会との連携も密にし、職員一丸となって進めてまいりますので、変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年の皆さまのご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

新年を迎えて



沼田市議会議長
星野 稔

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。平成29年の新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から、市政発展のために多大なご理解と絶大なご協力いただいたき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍は目覚ましく、なかでも陸上男子四百メートルリレーでは、史上初の銀メダルを獲得したことは、日本国民にとっても、夢と希望と誇りを与えられ、東京オリンピック・パラリンピックに弾みをつけた年でありました。

本市におきましては、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送による知名度のアップや、「上州沼田真田丸展」の開催による観光客の増加により、沼田市も大変盛り上がりを見せた年で

ありました。

また、姉妹都市交流では、静岡県下田市と姉妹都市締結50周年を迎え、強い絆を確認した節目の年でもありました。

全国的に急速な少子高齢化が進む中、将来にわたり活力ある社会を維持していくためには、人口減少に歯止めをかけ、住みよい環境を確保していくことが重要です。そのため、行財政改革の推進や市民との連携・協働の下、創造性豊かな明るく元気なまちづくりを進めて行くことが求められております。ぜひ、皆さまの積極的なまちづくりへの参加、ご協力を期待するものであります。

議会といたしましては、開かれた議会、より身近な議会の実現を念頭に置いた議会運営に努めるとともに、議会の役割と責任を自覚し、皆さまのご意見や、ご要望が効果的に市政に反映されるよう努力してまいります所存であります。

皆さまのご支援、ご協力を賜り、市民の皆さまとこの新年をお祝いするとともに、この一年が沼田市ならびに市民皆さまにとって、素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

迎春